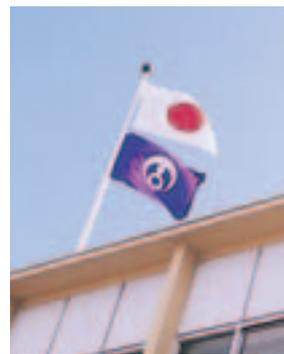


新『石巻市』の誕生

平成17年4月1日、人口170,959人・世帯数58,697戸の
県下第二の都市『石巻市』が生まれました



地方分権の推進、少子・高齢化の進行など、地方自治体を取り巻く大きな環境の変革期に的確に対応するため、平成14年7月に石巻広域合併調査研究会を立ち上げ、平成15年7月に石巻地域合併協議会を設置しました。平成16年10月に合併協定調印式を行い、同年11月に1市6町の各議会が、12月に県議会が廃置分合の議案を可決し、平成17年1月には総務大臣による告示が行われ法的手続きが完了しました。

新「石巻市」の誕生で、市民、町民の皆さんが大きな一つの『市民』となりました。市職員一同、新たな気持ちで市民サービスの向上に努めてまいりますので、よろしくお願ひします。

4月1日開庁ドキュメント

4月1日、新「石巻市」誕生を祝って、石巻市役所本庁舎と河北・雄勝・河南・桃生・北上・牡鹿の各総合支所で、午前8時から一斉に開庁式が行われました。

「石巻市」の新たななる船出の一日を紹介します。

午前8時～8時30分

本庁舎前と各総合支所前で「開庁式」が行われました。本庁舎前では、職員と来賓など約150人が集まる中、

市旗の掲揚に続き、山下壽郎市長職務執行者から、「合併は百年の大計。1市6町の住民一人ひとりが新市の市民としての自覚を持ち、新しいまちづくりに積極的に参加することが必要です。市民と行政が互いに連携しながら一致団結して、県北東部の拠点都市をつくるのが大切です。」とあいさつをされました。

続いて、来賓の方々によるテープカット・くす玉割が行われました。

また、河北総合支所では、銘板の除幕が行われ、石巻市河北総合支所の文字が現れると、多くの職員から拍手が沸き起こりました。

8時30分

市長室では、1市6町の首長から市長職務執行者への事務引継ぎが行われました。山下壽郎市長職務執行者は、署名押印された事務引継書を慎重に確認していました。

市役所および各総合支所では一斉に業務を開始。徹夜で準備を進めていた住民記録システムも順調に稼動しました。窓口を担当した市民課職員は「戸籍のコンピュータ化や住民記録システム統合などの膨大な作業が続いていましたが、トラブルもなく安心しました。」と話していました。



笑顔と自然あふれる元気なまち 石巻市



午前8時の開庁式の後、市長室に入った山下壽郎市長職務執行者は、休む間もなく執務に就くと、分刻みのスケジュールを夕方までこなしました。

農業委員会、暫定固定資産評価審査委員、消防団長、交通安全指導隊長などに辞令の交付がありました。

午後1時20分～4時30分

石巻中央公民館で市の部長・次長級、新規採用職員に辞令が交付されました。新規採用職員を代表して及川倫子さんは、緊張した面持ちで「全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行します」と新市に向け力強く宣誓書を読み上げました。

午前10時30分～11時30分

暫定教育委員に辞令の交付がありました。

午前9時30分